

富津市献血推進協議会会議録

1	会議の名称	令和8年度富津市献血推進協議会
2	開催日時	令和8年7月24日（金） 午後2時00分～午後2時29分
3	開催場所	富津市役所 2階 第1委員会室
4	審議等事項	1 議題 （1）令和7年度富津市献血推進協議会 事業実績報告について （2）令和8年度富津市献血推進協議会 事業実施計画（案）について （3）その他 2 千葉県の献血状況について
5	出席者名	献血推進協議会委員（12名） 高橋恭市（富津市長）、小野田隆博（富津市健康福祉部長）、内山久美子（君津健康福祉センター）、桜田伊知郎（一般社団法人君津木更津医師会）、阿部春汰（日本製鉄株式会社技術開発本部）、内田一 代理 千葉祐也（黒田精工株式会社）、安田俊司（ハヤシレピック株式会社）、松本晃一（富津市商工会）、溝口智（富津ライオンズクラブ）、大野泰代（富津市赤十字奉仕団・富津市連合女性会）、高橋廣（富津地区区長会）、庄司健一（富津市消防長） 千葉県赤十字血液センター（2名） 永井孝典（事業課長）、阿見朋香（主事） 事務局（3名） 成田政勝（健康づくり課長）、桑田正和（健康づくり課長補佐）、藤寄勉（主任主事）
6	公開又は非公開の別	☒ 公 開 ・ ☐ 一部非公開 ・ ☐ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人（定員3人）
9	所管課	健康福祉部健康づくり課 電話 0439-80-1268
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

令和 8 年度富津市献血推進協議会 会議録

発言者	発言内容
(進行) 成田課長	私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます、健康づくり課長の成田と申します。よろしくお願いいたします。 会議を始める前に、配布資料の確認をお願いいたします。 本日お配りした、会議次第が 1 枚、座席表が 1 枚、富津市献血推進協議会設置要綱が 1 枚、千葉県赤十字血液センター様からの資料として「愛のかたち献血」が 1 冊。事前に郵送で配布させていただきました、「令和 8 年度富津市献血推進協議会会議資料」ホチキス止めの資料が 1 部、千葉県赤十字血液センター様からの資料として「千葉県の供給・献血状況」が 1 枚でございます。 資料が不足している方がいらっしゃいましたら、お手数ですが挙手をお願いいたします。 それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和 8 年度富津市献血推進協議会を開会いたします。 本日の会議は 15 名の委員のうち、出席者 12 名で過半数に達しておりますので、「富津市献血推進協議会設置要綱」第 6 条第 2 項により会議は成立しております。 この会議は、富津市情報公開条例第 23 条の規定により、会議の公開と、会議録を作成し閲覧に供さなければならないこととなっておりますので、傍聴人の受け入れと会議録の公表について、ご理解の程お願いいたします。なお、本日の傍聴人はおりません。 また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますのでご了承くださいますようお願いいたします。 それでは、次第の 2「委員及び事務局職員紹介」でございますが、時間の都合上、お手元の席次表に代えさせていただきます。なお、令和 8 年 4 月 1 日付けの千葉県の人事異動に伴い、君津健康福祉センター副センター長の峯島喜明様が異動されたことに伴い、新たに副センター長に就任された内山久美子様を本協議会委員として委嘱させていただいております。 また、黒田精工株式会社富津工場の内田一様の代理として、同工場の千葉祐也様にご出席いただいております。 なお、千葉県赤十字血液センターから千葉港事業所事業課長永井孝典様、主事の阿見朋香様にご出席いただいております。 後ほど、千葉県の献血状況についてご説明をいただきます。 それでは、次第の 3「会長あいさつ」でございます。 本協議会の会長であります、高橋市長からご挨拶申し上げます。
高橋市長	改めまして皆様こんにちは。 ただいまご紹介いただきました本協議会の会長を務めております、市長の高橋でございます。 皆様には大変お忙しい中、令和 8 年度富津市献血推進協議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また日頃より、本協

	議会の事業推進にご理解とご協力をいただいておりますことを重ねて感謝を申し上げる次第であります。 こちらの会場に参りまして、千葉県赤十字血液センターの永井様、阿見様から名刺を頂戴いたしました。その名刺の下に「人間を救うのは人間だ」というような言葉が記されていました。 皆様、ご案内の通り、近年、医学や医療の技術は目覚ましいものがありますけれども、医療に欠かすことのできない血液に関しては、皆様の善意によるものに限られています。人の力が無ければ輸血は成り立たないということはお案内の通りであります。 そうした中、昨年度の本協議会において、献血でご提供いただいている血液の多くが、癌の患者の方を始めとする内科的治療に使用され、日々多くの命を支えている。とのご説明をいただきました。 今後、人口減少、少子高齢化の進行により、献血可能な人たちが少なくなると同時に、医療を必要とする方は増えてくることが予想され、血液の需要に関しては、ますます高まっていくものと考えられます。 誰もが安心して輸血を受けられる体制を維持するには、献血への理解を深めるための普及啓発や、環境作りを進めることが必要不可欠であると考えております。 本協議会といたしましても、引き続き献血の推進に当たり努力してまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。 本日でございますが、令和 7 年度事業実績報告及び令和 8 年度の事業実施計画案についてご審議をいただきたいと思います。皆様からご忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、会議冒頭の挨拶といたします。よろしくお願いいたします。
成田課長	ありがとうございました。 これから、議題に入らせていただきます。 議事進行につきましては、協議会設置要綱第 6 条第 1 項の規定により、会長である市長が会議の議長となることとなっておりますので、市長よろしくお願いいたします。
高橋議長	それでは、暫しの間、議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。 着席にて進行をさせていただきます。 まず初めに、会議録署名委員を指名させていただきます。 今回は、内山委員、安田委員をお願いいたします。 それでは、次第の 4、議題の（1）「令和 7 年度富津市献血推進協議会事業実績報告について」事務局の説明を求めます。
桑田課長補佐	それでは、令和 7 年度富津市献血推進協議会事業実績報告についてご説明させていただきます。 恐れ入りますが着席にてご説明させていただきます。 それでは会議資料の 2 ページ、令和 7 年度献血事業実績報告書をご

	覧ください。上の表が令和 7 年度の実績、下の表は参考としまして、令和 5 年度と令和 6 年度の実績を記載しております。いずれも採血者の実績数でございます。 令和 7 年度に採血された人数は 200ml 献血が 10 人で、達成率は県目標、市目標ともに 71.4%でございました。 また、400ml 献血は 999 人で、達成率は県目標に対し 214.8%、市目標に対し 100.9%でございました。合計として 1,009 人の方々に採血いただき、達成率は県目標に対し 210.6%、市目標に対し 100.5%となりました。 なお、400ml 献血をされた方は全体の約 99.0%、200ml 献血をされた方は全体の 1.0%でございます。 続きまして、3 ページをご覧ください。 「令和 7 年度献血実施結果報告書」でございます。 令和 7 年度に実施いたしました献血を時系列に並べ、献血会場ごとに採血状況を記載しております。 「イオンモール富津」をはじめ、1 年間に延べ 25 会場で実施し、表の一番右下に記載のとおり、合計で 1,120 人が受付けされました。しかし、当日の体調などにより、111 人の方が実施できなかったことから、採血につきましては 1,009 人の方々のご協力となりました。 つづきまして、4 ページをご覧ください。 「令和 7 年度会場別献血実施者数内訳」になります。こちらは、会場別、月毎に献血実施者数をまとめた表となります。 令和 7 年度につきましては、9 会場でご協力をいただいております。 この表から No.3、4 の「日本製鉄株式会社」での献血者数や、一般の方も対象とした No.1 の「イオンモール富津」と No.7 の「富津市役所」での献血者数が多いことが確認できます。 以上で「令和 7 年度富津市献血推進協議会事業実績報告」についての説明を終わります。 ご承認の程、よろしくお願い申し上げます。
高橋議長	事務局の説明は終了しました。 ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。
委員	特になし
高橋議長	それでは、特にないようですので、「令和 7 年度富津市献血推進協議会事業実績報告」につきまして、承認ということでよろしいでしょうか。
委員	「異議なし」の声あり
高橋議長	ありがとうございます。 それでは異議がないとのことですので、承認いたします。

桑田課長補佐	続きまして、議題の（２）「令和８年度富津市献血推進協議会事業実施計画（案）」について」事務局の説明を求めます。 それでは、「令和８年度富津市献血推進協議会事業実施計画（案）」について、ご説明させていただきます。 恐れ入りますが、会議資料の５ページをご覧ください。 令和８年度の献血目標でございます。 令和８年度の富津市独自の献血目標は２００ｍｌ 献血が１４人、４００ｍｌ 献血が９９２人、合計で１,００６人でございます。 千葉県が定めている富津市の令和８年度献血目標は２００ｍｌ 献血が１４人、４００ｍｌ 献血が４５４人、合計で４６８人でございます。 令和８年度の富津市の献血目標人数は、過去３年間（令和５年度～７年度）の実績に基づいて算出しました。 具体的には、各年度の実績達成数の平均である１,００６人を用い、今年度の合計目標を１,００６人と設定しました。 また、２００ｍｌ 目標は千葉県と同様の１４人、４００ｍｌ 目標は合計目標から２００ｍｌ 目標を引いた９９２人を設定しました。 続きまして、下の表をご覧ください。 「令和８年度献血実施計画（案）」でございます。 こちらは、昨年度３月に令和７年度の実績を基に、月毎、会場毎に計画し、赤十字血液センター様にご確認いただき、令和８年度実施計画として千葉県に報告したものでございます。そのため、令和８年度の事業を進める中で、５月に予定しておりました「日本製鉄(株)エンジニア館」の中止や、５月に新たな実施事業所となる「住友重機械モダン(株)富津第二工場」が加わったことなど、実際の実施状況と一致しない箇所が生じておりますことを、ご承知おきください。 なお、今後も新たな会場など、千葉県赤十字血液センター様と協力し、検討していきたいと考えております。 以上で「令和８年度富津市献血推進協議会事業実施計画（案）」についての説明を終わります。 ご承認の程、よろしくお願い申し上げます。
高橋議長	事務局の説明は終了しました。 ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。
委員	特になし
高橋議長	それでは、特にないようですので、「令和８年度富津市献血推進協議会事業実施計画（案）」について」承認ということでよろしいでしょうか。
委員	「異議なし」の声あり

高橋議長	ありがとうございます。 異議がないとのことですので、承認いたします。 続きまして、議題の（３）「その他」として、委員の皆様から何か、ご意見などありますか。
委員	特になし
高橋議長	それではないようですので、以上で本日の議題は全て終了いたしました。 議長の職を解かせていただきます。 ご協力ありがとうございました。
成田課長	ありがとうございます。 続きまして、次第の５「千葉県の献血状況について」になります。 千葉県の献血状況につきまして、千葉県赤十字血液センター千葉港事業所事業課長の永井様及び主事の阿見様から、ご説明いただきます。
永井事業課長	ただいまご紹介に預かりました千葉県赤十字血液センター千葉港事業所事業課長の永井と申します。 日頃より皆様には献血事業にご協力いただきましてありがとうございます。 昨今、輸血用血液の確保が厳しい状況となっております。また、この夏も非常に暑い状況で、ショッピングセンター様等にお邪魔しておりますが、なかなか採血者が少ないという状況が続いております。 これからも皆様に色々ご理解ご協力いただきながら事業を進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 千葉県の状況につきましては、富津市の担当の阿見からご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。
阿見主事	千葉県赤十字血液センターの富津市を担当させていただいている阿見と申します。よろしくお願いいたします。 本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。恐れ入りますが着席にて失礼いたします。 初めに、こちら「愛のかたち献血」は血液事業の詳細や実際に輸血治療を受けた患者さんの声が記載された資料になります。 この資料から、献血の種類や献血の流れについてお話させていただきます。 12 ページをご覧ください。 皆様ご存知かと存じますが、献血の流れとしまして、受付、医師の問診、血液型やヘモグロビンの濃度の基準を満たしているかを調べる事前検査、本採血、そして最後に 20 分程度の休憩をしていただくことで献血の一連の流れとなっております。だいたい目安で 45 分のお時間をいただいて、皆さまにご協力をいただいております。

次に 7 ページになります。こちらは献血の種類となります。献血は大きく分けて 2 種類ございます。全血献血と成分献血になります。献血バスで行っているのは、全血献血のみとなっております。全血献血は血液中の全ての成分を採血する方法と成っており、200ml 献血、400ml 献血を行っています。献血ルームなどの固定施設では、全血献血と成分献血を行っています。成分献血では血漿成分献血と血小板成分献血の二つを行っています。これら献血からできるものが全血製剤、赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤となっております。

次に 5 ページをお願いいたします。

輸血用血液製剤には赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤、全血製剤がありますが、医療機関への全件給数のうち、赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤でほぼ 100%を占めます。

それでは、輸血用血液製剤のご紹介をさせていただきます。赤血球製剤では保存温度が 2 度から 6 度、有効期間は採血後 28 日間しか保つことができません。血漿製剤では保存温度がマイナス 20 度でとても涼しい中で保存しております。こちらは冷凍しているため、採血後、1 年間有効期間がございます。次に血小板製剤でございます。こちらは 20 度から 24 度、気温と同程度の温度で保存しており、採血後は 6 日間という短い期間しか保つことができません。

次に血漿製剤から作られる血漿分割製剤というものがございます。こちらは血漿中の大体 55%から 60%の中に含まれている、血液凝固因子、免疫グロブリン、アルブミンなどのたん白質を抽出・精製したものです。製品は瓶入りで安定性も高く、輸送、保管も簡易で、有効期間が長いメリットがございます。

次に 3 ページになります。

なぜ 400ml 献血を推進しているのかというお話をさせていただきます。

医療機関の 99%は 400ml を使用しているという事実がございます。こちらは一人ひとりの血液がたとえ血液型が同じでも微妙に違っているという点がございます。

このため、複数の献血者の血液を合わせて一人の患者さんに輸血すると、副作用と呼ばれている発熱や発疹などの発生の可能性が高くなってしまうため、400ml 献血は安全性を向上させる献血の種類として推奨しております。

16 ページをご覧ください。

こちらは献血していただいた方皆さまにお知らせしている、検査成績のお知らせになります。健康診断でやっていただくような結果項目を送らせていただいております。

なお、1 月 4 日で献血カードが終了しまして、ラブラッドというアプリに移り変わりました。こちらのアプリでは過去データと比較することもできますので、皆さんラブラッドへの移行をよろしく願いいたします。

駆け足になりましたが、次に千葉県の供給・献血状況についてお話をさせていただきます。

令和7年度におきまして、千葉県内6か所に設置されている献血ルームと、10台のバスでの移動採血にて延べ23万9,409名の方々にご協力をいただき、86万7,029単位を県内の医療機関へ届けることができました。

また、献血カードの後継として始まりました、ラブラットのアプリを通して医療機関からの需要が高い成分献血や400m1献血を中心とした、予約献血の定着が安定供給に繋がっております。

輸血用血液製剤の供給状況では、赤血球製剤は若干減少しましたが血漿製剤、血小板製剤は増加しています。しかし、年代別の献血状況をご覧いただくと分かりますように、50・60代の献血者が増加しているのに対し若年層と呼ばれる10代から40代の献血者数が減少傾向にあります。将来を担う若年層の献血者からの献血協力が難しい状況と、献血可能年齢を迎え卒業される年齢が多くいることを考慮しますと、中学生・高校生を対象とした献血セミナーの実施等を含め、いかに献血者数の増加に繋げていけるかが課題だと考えております。

令和8年度における供給計画数は89万単位、献血目標数は23万7,474人と決定しました。こちらは、医療機関からの需要の高い400m1献血、成分献血に重点を置いています。

最後に富津市の現在の献血者状況です。

令和7年度献血事業実績報告書にありましたように、令和7年度献血実績として1,009名の方にご協力いただきました。しかし、居住地別献血者数では、令和8年1月1日現在富津市人口が3万8,531名様いるのに対し、献血者数が1,344名様と約0.6%の方が献血をいただいている結果となっております。こちらは、富津市住民の方が別の市町村にて献血を実施していただいた人数も合算しているため、令和7年度献血事業実績報告書とは数の乖離がありますが、協議会の方々の沢山のお声掛けのお力だと考えております。

さらに、令和8年度7月24日現在、「黒田精工株式会社様・ハヤシレピック株式会社様・赤星工業株式会社様・日本製鉄株式会社技術開発本部様・駒井ハルテック様・イオンモール富津様」さらに新規会場として「住友重機械モダン様」の計7企業8会場で献血を実施させていただいた結果、219名様にご協力いただいています。また、8月12日では富津市役所様にて献血を実施いたします。令和8年度献血実施計画にあります1,006名が達成できますように、皆さまのお声がけをよろしくお願いいたします。

輸血用の血液は、約8割が悪性新生物、癌の治療に使われております。事故やケガでの輸血治療は2割となっております。また、血液製剤は細胞を使用した生ものであるため、長期保存ができず今もなお人工的に作ることができません。癌などの病気の治療を行っている患者様に安定的に血液を供給するために、皆さまの継続した献血へのご協力とお声がけが欠かせません。今後も皆さまのお力をお借りできると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

成田課長	永井様、阿見様ありがとうございました。 何かご質問がございましたらお願いいたします。
委員	特になし
成田課長	以上をもちまして、令和８年度実施献血推進協議会を閉会とさせていただきます。 委員の皆さまには長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。 お疲れ様でした。